

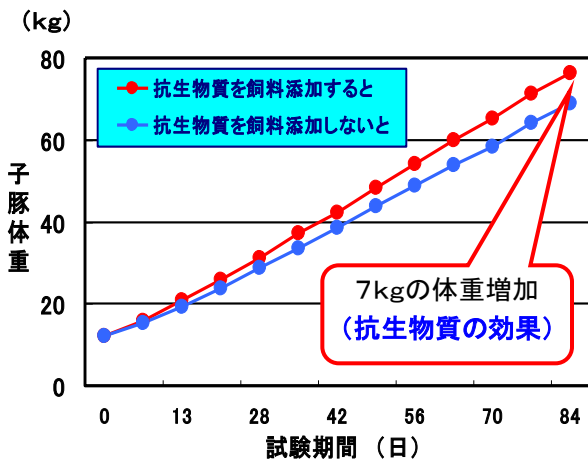
子豚の無薬飼育にはキムチ由来の乳酸菌が有効

【背景・内容・成果】

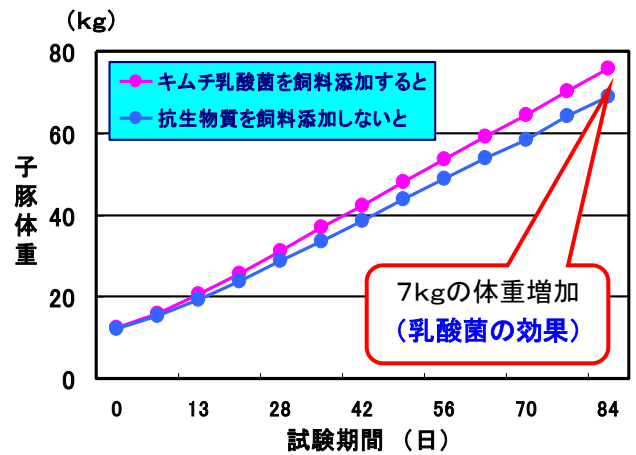
現在、子豚用配合飼料には成長促進を目的として、抗菌性飼料添加物(抗生物質)が添加されています。食の安全・安心の観点から、配合飼料への抗生物質添加をやめた場合に、抗生物質の代替物質としてキムチ由来乳酸菌死菌体制剤(乳酸菌)を飼料添加すると、子豚の発育が抗生物質添加時と同等になることが明らかとなりました。

キムチ由来乳酸菌製剤とは：キムチから分離された乳酸菌(Lactobacillus sakei HS1)を加熱処理により死菌とし、乾燥製剤化したもので、製品1g中に 1×10^8 個の菌体を含みます。
今回、本製剤を飼料に0.02%添加して、体重10kgの子豚が70kgに到達するまで給与しました。

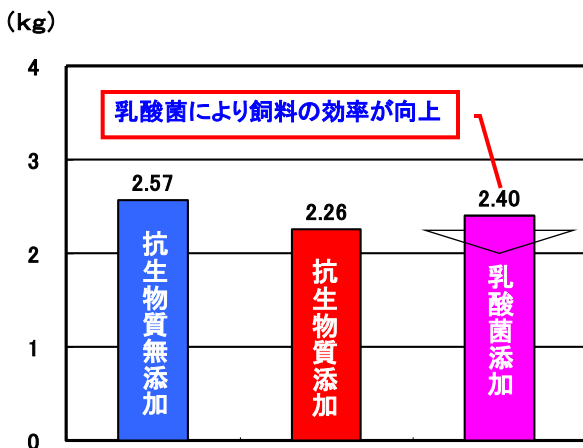
●子豚の発育は抗生物質や乳酸菌の飼料添加でどう変わるの？



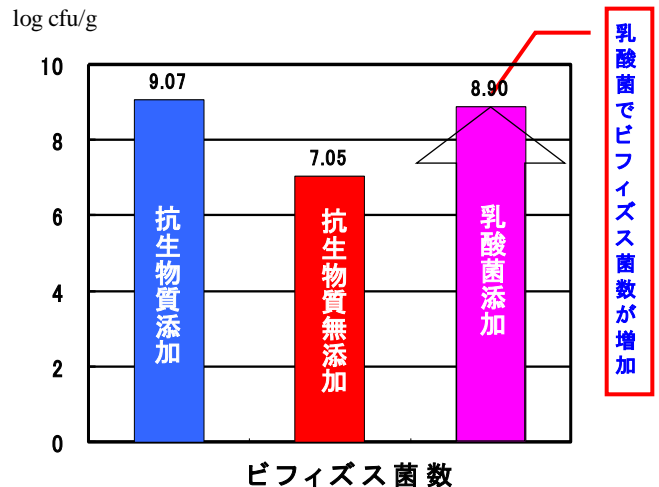
乳酸菌で代替



●子豚が1kg太るのに必要なエサの量は？



●子豚の腸内細菌への影響は？



【技術の活用】

消費者ニーズに即した個性、特徴のある肉豚生産が求められており、安全・安心を前面に打ち出した差別化商品の生産をめざす経営で利用が可能です。